

小学校一～二年生

1 目標

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話す能力/大事なことを落とさないように聞く能力/話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。
- ・ 相手に応じて話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。
- ・ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。
- ・ 大事なことを落とさないようにしながら興味をもって聞くこと。
- ・ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。

B 書くこと

書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。
- ・ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
- ・ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。
- ・ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、直すこと。
- ・ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

C 読むこと

読むことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
- ・ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
- ・ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
- ・ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。
- ・ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
- ・ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

3 具体的な指導内容

ひらがな/カタカナの学習、教科書の音読、漢字の学習(80字-一年/160字-二年)、作文(日記)、文法(語彙)文の構成を学ぶ(主語述語-一年/接続語-二年)

小学校三～四年生

1 目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて筋道を立てて話す能力/話の中心に気を付けて聞く能力/進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。
- ・ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。
- ・ 相手を見たり言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。
- ・ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。
- ・ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

B 書くこと

書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて書く上で必要な事柄を調べること。
- ・ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。
- ・ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。
- ・ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。
- ・ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。
- ・ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

C 読むこと

読むことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ・ 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。
- ・ 目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと。
- ・ 目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用/要約したりすること。
- ・ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。
- ・ 目的に応じていろいろな本や文章を選んで読むこと。

3 具体的な指導内容

教科書の音読、漢字の学習(200字-三年/200字-四年)、作文、詩の作成、文法(主語-述語-修飾語-指示語)

小学校五～六年生

1 目標

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについての的確に話す能力/相手の意図をつかみながら聞く能力/計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

- 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。
- 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
- 共通語と方言との違いを理解し、また必要に応じて共通語で話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
- 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

B 書くこと

書くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

- 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。
- 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書くこと。
- 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
- 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

C 読むこと

読むこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

- 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。
- 目的に応じて本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ自分の考えを明確にしながらかんたんに読むこと。
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。
- 目的に応じて複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

3 具体的な指導内容

教科書の音読、漢字の学習(185字-五年/181字-六年)、読書感想文、文法(言葉の種類/体言用言)